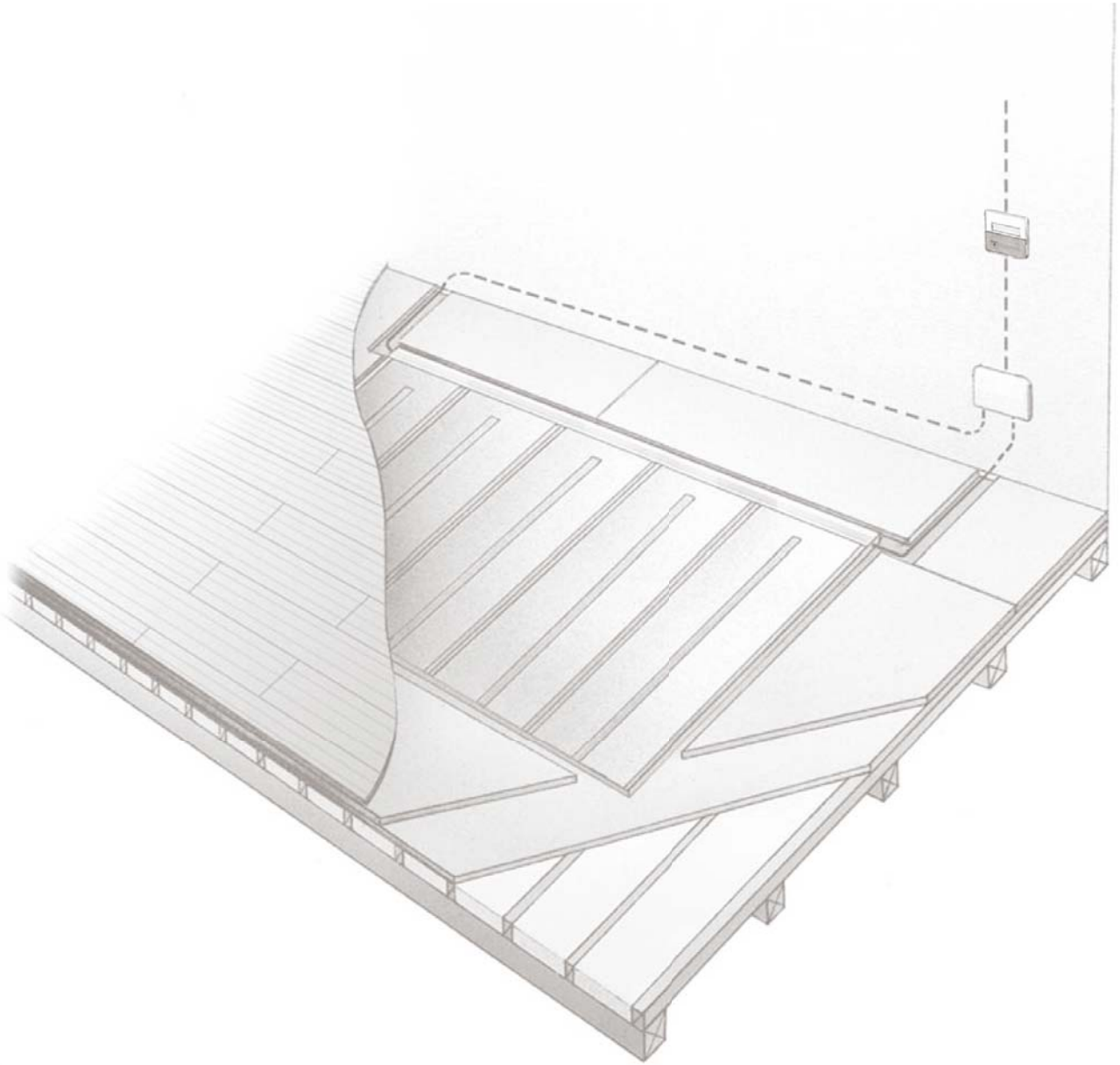
LIXIL

インテリア建材　床暖房システム

HOTひといき

取付け説明書



■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

⚠警 告…施工を誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

⚠注 意…施工を誤った場合、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。
冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

⚠ 警 告

●感電・漏電・火災の原因となりますので、下記事項を必ずお守りください。

・電気工事は必ず電気工事士有資格者が行ってください。
・床暖房パネルの釘打ち可能範囲（緑色部分）以外には絶対に釘、ねじなどを打たないでください。
・配線口パッキンは必ず取付けてください。
・コンクリートスラブへの直接施工は絶対におやめください。
・本製品は屋内専用の床暖房システムです。屋外、及びトイレ、浴室、脱衣所など常時湿気や水のかかるおそれのある場所には施工しないでください。
・床暖房の電源は必ず専用回路とし、高速形の漏電遮断器及び過電流遮断器を設置してください。
・電源は、必ず単相交流 100V 50/60Hz としてください。
・コントローラー、リレースイッチへの床暖房パネルの接続は必ず定格出力以内の枚数としてください。
・必ずコントローラー、床暖房パネルの定格に合った電源をご用意ください。
・コントローラー、リレースイッチ、床暖房パネルを改造、分解、切断などしないでください。
・コントローラー、リレースイッチ、1次電源線の接続前に必ず、床暖房パネルの抵抗値、絶縁抵抗値を測定し異常がないことを確認してください。

⚠ 警　告

・コントローラー、リレースイッチの取付け・取外しや結線のときは必ず、ブレーカーを切った状態で行ってください。
・床クリーニング時に水、洗浄液、ワックスなどを直接床にまかないでください。

⚠ 注　意

●本製品は必ず捨て張り合板上に施工してください。根太に直接施工されますと、パネルが荷重に耐えられず破壊し、人や物が落下しケガや破損するおそれがあります。
●床下地材（合板・根太など）は乾燥したもの（概ね含水率15%以下）をご使用ください。又雨などで濡れた場合は必ず下地材が乾燥した事を確認してから床暖房パネルの施工を行なってください。
●床暖房パネルの上にはべた置きの家具などを設置しないようにしてください。放熱が妨げられるほか、家具が変質するおそれがあります。

■施工上のお願い

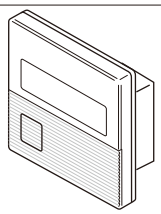
●はじめに、開梱したら部品、部材の数量、異常の有無を確認してください。電気部品の初期不良を除き取付け施工後の部品の損傷、不足などのお申し出には応じかねます。
●本製品の施工は本説明書を熟読の上、手順通りに行ってください。
●本製品は日本国内専用です。海外で使用されますと電源電圧、周波数の違いにより機器が故障するおそれがあります。
●コントローラー、リレースイッチの取付けには必ずスイッチボックス（カバー付き、現場手配）をご用意ください。スイッチボックスを使用しないとコントローラー、リレースイッチが脱落するおそれがあります。
●床暖房パネルは必ず平置き保管してください。立てかけて保管されますとパネルが変形するおそれがあります。
●床仕上げ材は、必ず当社が指定する床暖房対応の床仕上げ材をご使用ください。
床仕上げ材の施工の詳細は、床材に同梱の施工説明書の内容にしたがってください。
●床材の固定は必ずパネルの釘打ち可能範囲（緑色部分）に接着剤、フロア専用スクリュー釘（38mm以上）またはフロア用ステープル(38mm以上）を併用して固定してください。
固定ができていないと床鳴り、目すきを生じるおそれがあります。
●接着剤は必ず指定のもの（LZZZZ036、コニシ製KU928-CX）をお使いください。
指定以外のものを使用されますと、床鳴り、目すきの原因となるおそれがあります。
●床暖房パネル相互、パネルと周辺合板の間には必ず2mm程のすき間を設けてください。すき間をあけずに施工されますと暖房時のパネルの伸びが吸収できず、突き上げ、床鳴りを生じるおそれがあります。
●床施工用接着剤の使用に際しては接着剤本体記載の注意事項をよくお読みください。
●重量物を設置する際は、根太ピッチを151.5mmとするか、捨て張り合板を2枚重ねするなど下地の補強を行ってください。又、重量物の脚には板を敷いて荷重を分散させてください。
●床クリーニング時にワックスを塗布される場合は、必ず床暖房の運転を停止し、床表面の温度が下がってから行ってください。表面温度が高いまま塗布されますとワックスはくりの原因となります。

■部品・部材の名細

■コントローラー

コントローラー本体	1

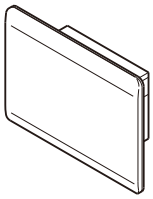
コントローラー



■リレースイッチ

リレースイッチ本体	1
施工説明書	1

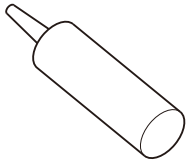
リレースイッチ



■床施工用接着剤

床施工用接着剤	6

床施工用接着剤



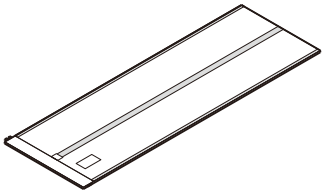
■床暖房パネル（入数1）

床暖房パネル	1

■床暖房パネル（入数2）

床暖房パネル	2

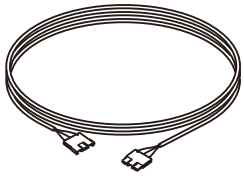
床暖房パネル



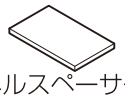
■コネクタ付き電源線

コネクタ付き電源線	1
取付け説明書（本書）	1
取扱い説明書	1
パネルスペーサー	3
配線口パッキン	4

コネクタ付き電源線



●コネクタ付電源線



●パネルスペーサー（3枚）

●配線口パッキン（4個）

■施工手順

■施工前の確認
↓
回コントローラー取付け位置の確認･先行配線
↓
■床下地の施工
↓
回床暖房パネルの準備・検査
↓
■床暖房パネルの施工
→
回床暖房パネルの結線・検査
↓
■周辺合板の施工
↓
■床材の施工
↓
回コントローラー／リレースイッチの取付け
↓
■試運転

※回印の作業は電気工事士有資格者が
必ず行ってください。

⚠ 警　告

●電気工事は必ず電気工事士有資格者が行ってください。

■各部材の名前

コントローラー

リレースイッチ

床暖房パネル

A部

コネクタ付き電源線

周辺合板

仕上げ用床材

捨て張り合板

大引き

断熱材

根太

■A部詳細図

コネクタ

配線口パッキン

※床暖房パネルの釘打ち可能範囲（緑色部分）は構造上発熱しません。そのため床表面に約30cm間隔で若干温度が低い部分が生じます。

■施工詳細

1 施工前の確認、床下地について

①断熱工事

・床暖房を設置する住宅には断熱工事を実施してください。

・断熱工事については新省エネルギー基準（H4・建設省告示第451号）に適合する仕様以上の断熱材を施工してください。特に施工する個所の床下断熱が不足していますと、床暖房使用時に 床温・室温が上がらない、電気代（ランニングコスト）が高くなるなどの問題が生じるおそれがあります。

●床下断熱材の厚さ（参考）

地域	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ
断熱材の厚さ（mm）	150	75	75	45	35

＜木造 気密住宅、外気に接する床＞
押出法ポリスチレンフォーム1種使用時の値

②電源準備

・ＨＯＴひといきは100Ｖ仕様となっております。電源は必ず単相交流100Ｖ 50/60Hzの専用回路をご用意ください。

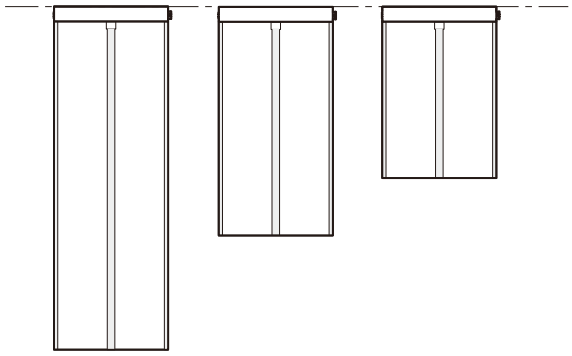
・床暖房の施工に際しては電気設備技術基準（第228条）により専用の開閉器、過電流遮断器、漏電遮断器の設置が義務付けられています。必ず実施してください。漏電遮断器は感度電流30ｍＡの高速形を選定してください。

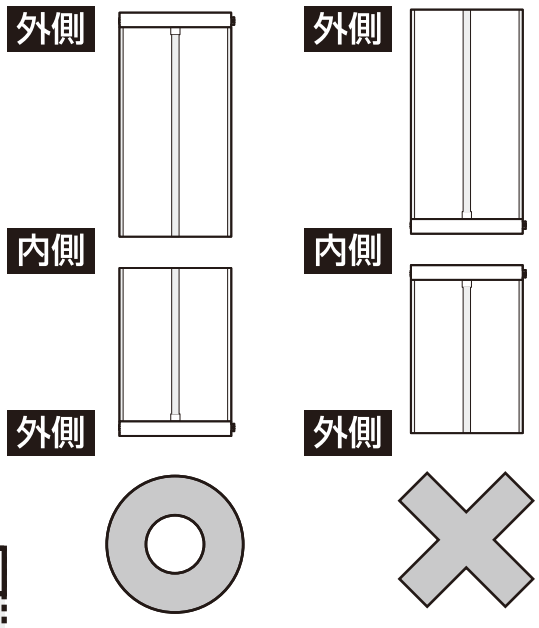
③暖房計画・パネル割付け

・床暖房を主暖房として使用される場合は部屋の床面積に対する床暖房パネルの面積（敷設率）が60%以上となるように割付けしてください。 パネル面積が不足していますと放熱量が不足し部屋が暖まりません。敷設率が60%に達しない場合はエアコン・ファンヒーターなど補助暖房の使用をご検討ください。

・床暖房パネルは長手方向が必ず床材の長手方向と直交するように割付けします。

・床暖房パネルにはコネクタ収納部があります。違うサイズのパネルをならべて施工する際は配線部分を揃えて割付けしてください。また、この部分は発熱しません、パネルを縦にならべる場合には配線収納部を外側に向けて配置してください。





⚠ 注　意

●床暖房パネルの上にはべた置きの家具などを設置しないようにしてください。

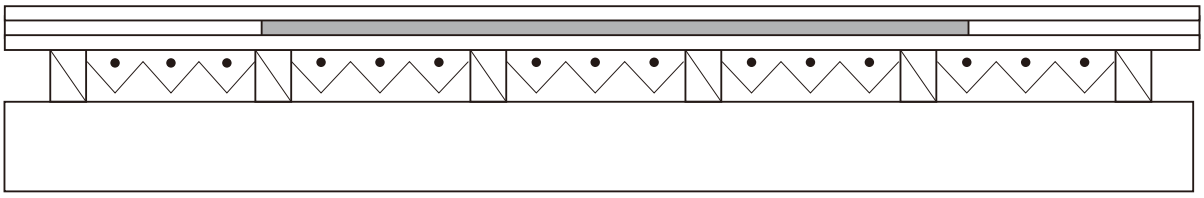
④床下地
・床暖房パネルは捨て張り工法（根太＋捨て張り、乾式二重床＋捨て張り）専用です。
　下図に示す工法以外には使用できません。
・バリアフリーの床納まりとする場合、床暖房を施工する部屋はその他の部屋よりパネル厚さ（12mm）分、床下地レベルを下げて施工してください。

⚠ 警　告

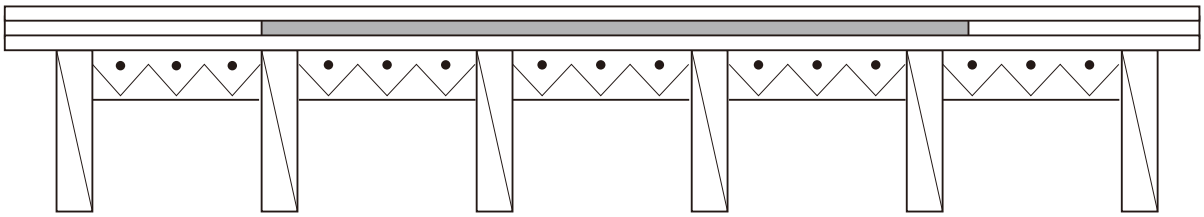
●コンクリートスラブへの直接施工は絶対におやめください。

●適合床下地構造

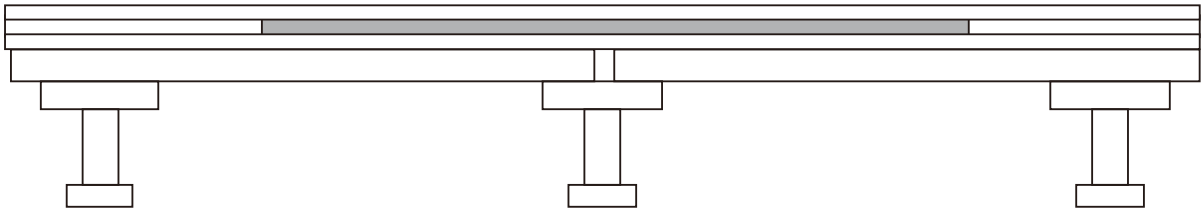
■在来木造（捨て張り）



■2×4（捨て張り）



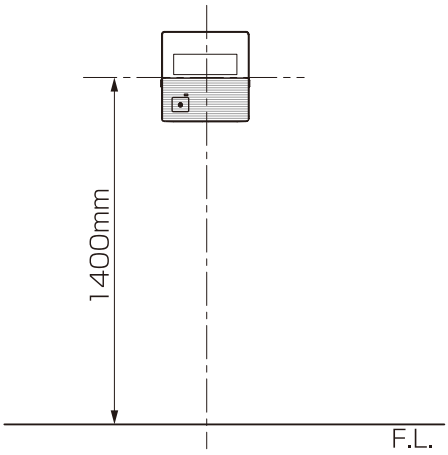
■ＲＣ（2重床）



2 コントローラー取付け位置の確認、先行配線

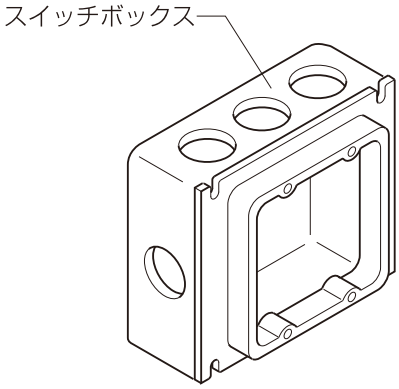
1 コントローラー取付け位置

①コントローラーの取付け位置は床暖房パネルを敷設した個所に近い垂直な壁面としてください。
②直射日光が当たらない位置としてください。
③外気の吹込み、エアコンの吹出し位置は避けてください。
④コントローラーはリレーを内蔵しており若干のスイッチ音がします。枕元など音が気になる場所への設置はご遠慮ください。
※取付け高さは床面から、1400 mm に設定しておりますが、現場環境によって①～④に配慮した取付け位置としてください。

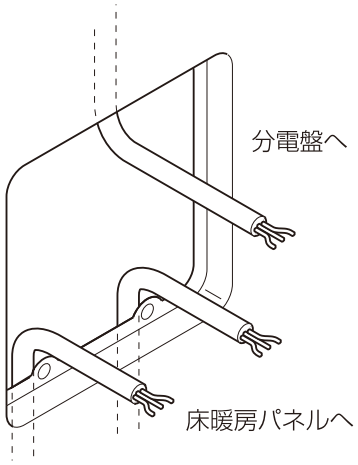


2 先行配線

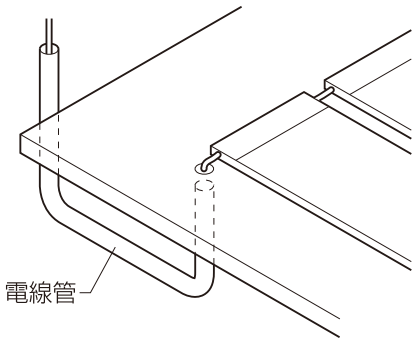
①コントローラーの取付け位置が決まったら、壁にスイッチボックスを組み込んでおきます。スイッチボックスは2個用（カバー付き：必要壁内法寸法57mm、現場手配）を使用します。



②コントローラー取付け位置には分電盤からの1次側電源線、床暖房パネルへの電源線を引き出しておきます。電源線にはVVFφ2.0mm3芯をご用意ください。
③リレースイッチ（増設用）を使用する場合には、リレースイッチへの信号線（VVFφ1.6mm2芯）、スイッチボックス3個用（カバー付き）を用意しておきます。
リレースイッチの施工についてはリレースイッチに同梱されている説明書をご覧ください。



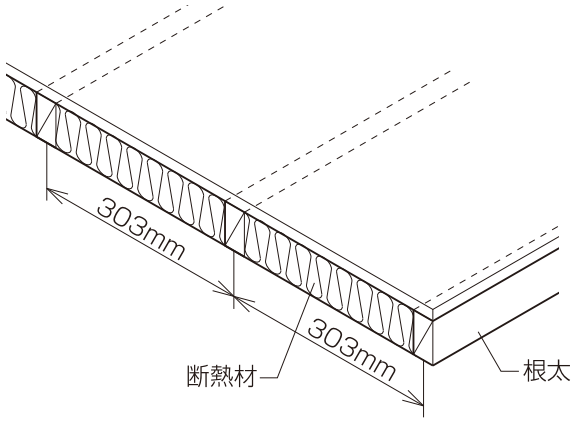
④床下などを配線する場合で床下に人が入るスペースがないときには、あらかじめパネルの接続部付近まで合成樹脂電線管（PF管など）を配管しておいてください。
※発泡ポリスチレン系の断熱材を使用する場合、断熱材がＶＶＦケーブルに触れますとケーブルの被覆が劣化しますので、必ず電線管などを用いて保護してください。



❸ 床下地の施工

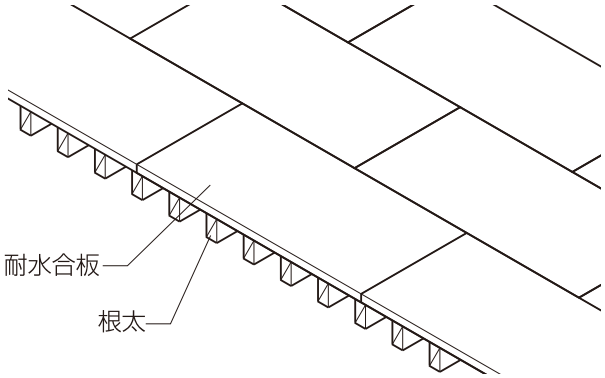
1 根太、断熱材の施工

①根太施工のピッチは303mmとしてください。
それ以外で施工されますと床材、パネル固定時に釘打ちができなくなります。
②床下には断熱材を必ず施工してください。
（❶ ―① 断熱工事 参照）



2 下地合板の施工

①捨て張り合板は厚さ12mm以上の耐水合板をご使用ください。
②合板の継ぎ目は必ず根太上に割り付け、隣り合う合板はレンガ張りとしてください。
③合板の根太（2重床）への固定は接着剤と釘を併用して強固に行ってください。
④床下配線などが必要な場合は、床暖房パネルの電源線接続位置付近に電源線立ち上げ用の開口を開けてください。
⑤合板の継ぎ目などの下地の段差は1mm以内となるようにサンダー、電気カンナなどで調整してください。

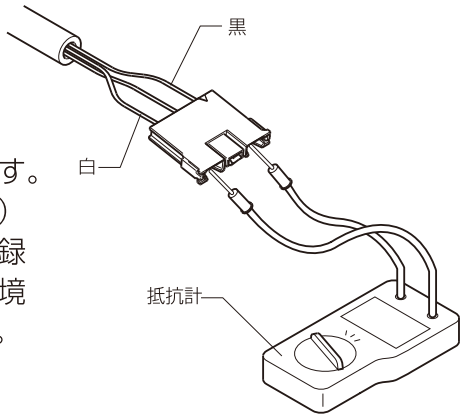


⚠ 注　意

●床下地材（合板・根太など）は乾燥したもの（概ね含水率15%以下）をご使用ください。また雨などで濡れた場合は必ず下地材が乾燥した事を確認してから床暖房パネルの施工を行ってください。

4 床暖房パネルの準備・検査

●パネルの検査

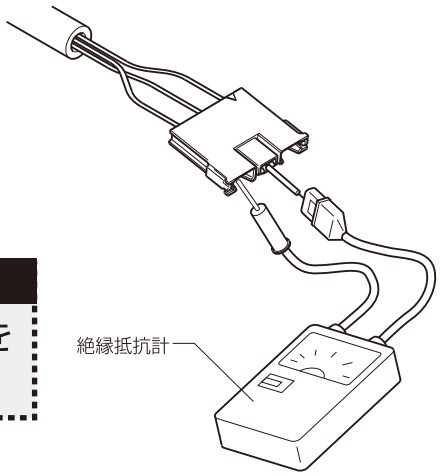


①開梱したらパネルに傷などの不良がないかどうかを確認します。
②床暖房パネル1枚あたりの抵抗値をテスターを用いて測定します。パネルの蓋板を外し、コネクタの外側の端子（リード線：白と黒）間の抵抗値を測定し、 正常値の範囲にあるかどうかを確認、記録します。床暖房パネルの抵抗値はＰＴＣ特性があるため、環境温度により抵抗値が変化します。正常値の目安は表1の通りです。

表1. 床暖房パネル抵抗値目安

パネルサイズ	1806	1803	1206	1203	0906	0903
夏場（35℃）	40～80Ω	80～160Ω	65～135Ω	120～260Ω	80～180Ω	175～365Ω
冬場（5℃）	30～50Ω	60～100Ω	45～75Ω	90～150Ω	65～120Ω	125～220Ω

③パネルの絶縁抵抗をＤＣ500Ｖの絶縁抵抗計（メガー）で測定します。絶縁抵抗はパネルコネクタの電源線端子（白、黒）と検査線（黄色）間を測定し、100MΩ以上あることを確認してください。



⚠ 警　告

●施工前に必ず、床暖房パネルの抵抗値、絶縁抵抗値を測定してください。

5 床暖房パネルの施工

1 床暖房パネルの墨出し

①敷設計画に基づいて、下地合板にパネル割付け位置を墨出しします。パネルの配置にはいくつかの制限があります。必ずお守りください。
❶コントローラーの1つの回路には電流合計15Ａまでのパネルが、リレースイッチには20Ａまでのパネルが接続可能です。（コントローラー1台では2回路・合計30Ａまで、リレースイッチ1台には2回路・合計40Ａまで接続可能）各パネルの最大電流は表2をご覧ください。なお、コネクタ接続時パネルは全て並列接続となります。

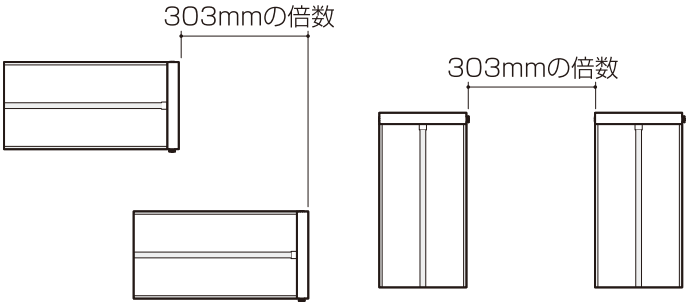
⚠ 警　告

●床暖房パネルは絶対に切断しないでください。

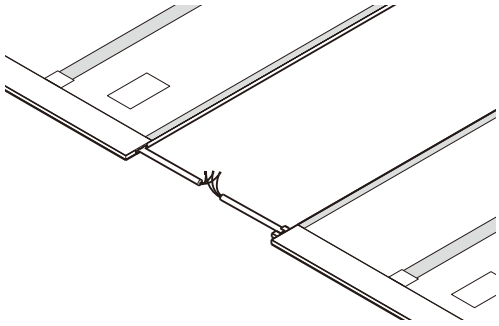
表2. 床暖房パネル 最大電流

パネルサイズ	1806	1803	1206	1203	0906	0903
最大電流	3.9A	2.0A	2.5A	1.3A	1.8A	0.9A

❷原則として隣り合うパネルのコネクタ収納部は位置を合わせて割り付けします。コネクタ収納部の位置がずれますと、隣り合うパネルの結線ができなくなります。パネルを離したり、長手方向にずらして割り付ける場合は、パネルの間隔、ずらし幅は303mmの整数倍としてください。それ以外の寸法で割り付けしますと床材施工時に釘打ち固定ができなくなります。



❸コネクタ収納部が一直線にならない場合や、パネルとパネルが大きく離れる場合はコネクタ付き電源線を使用して接続してください。コネクタ付き電源線は10mのケーブルにオス・メスコネクタが各1個ついています。 長すぎる場合には中央部を切り詰め、短くした上でご使用ください。電線の接続部は床下に落とし込み、配線ボックス内に納めてください。

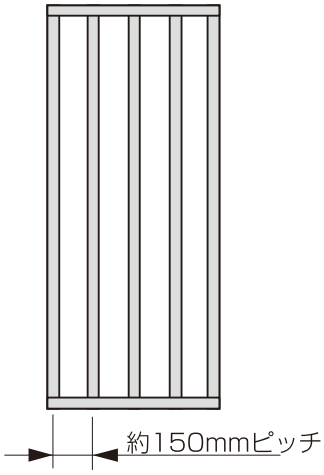


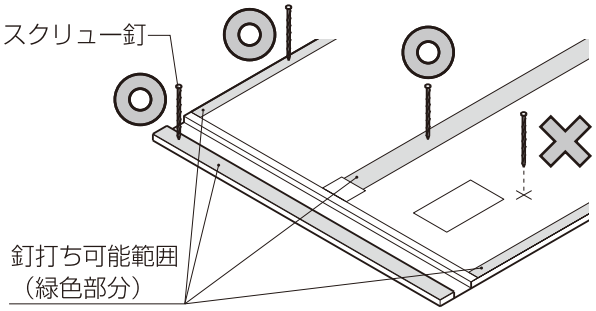
2 床暖房パネルの敷設

①パネル敷設位置の下地合板に専用の床施工用接着剤（LZZZZ036・有償部品）を塗布します。 接着剤はカートリッジタイプとなっておりますので、接着剤用のカートリッジガン（ジャンボタイプ・現場手配）を使用して約40mm巾で塗布してください。塗布はパネル敷設位置の各辺と中央部・約150mmピッチとしてください。（図1参照）パネル固定に必要な接着剤使用量の目安は0.4kg/m^{2}です。

②床暖房パネルを墨出し線にあわせて配置し、パネルに表示してある釘打ち可能範囲（緑色部分）にスクリュー釘又は皿木ネジ（L＝36mm程度）を使用して303mmピッチで固定してください。このとき、釘・ねじの頭は完全に沈めてください。

図1. 床暖房パネル接着剤塗布位置

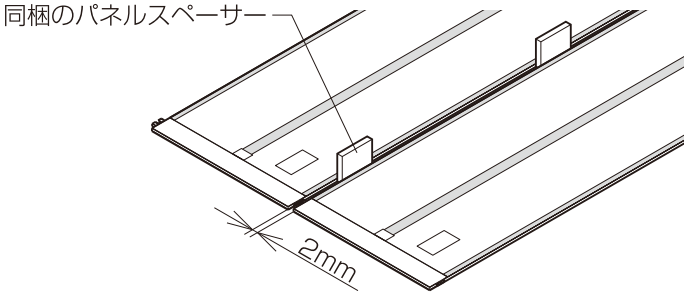




⚠ 警　告

●釘打ち可能範囲（緑色部分）以外には絶対に釘、ねじなどを打たないでください。

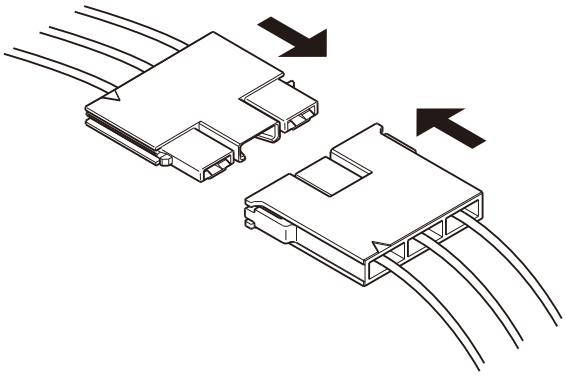
③隣り合うパネルの間には必ず2mmのすき間を設けてください。コネクタ付き電源線に同梱のパネルスペーサー（厚さ2mm）を使うと施工が楽です。



6 床暖房パネルの結線・検査

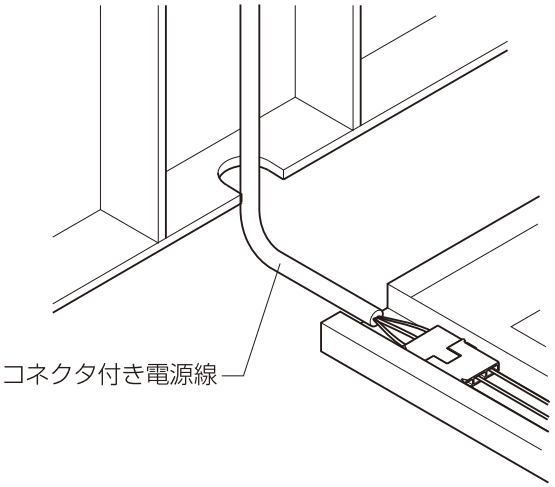
1 パネル相互の接続

●パネル相互の接続はパネルに取付け済みのコネクタで行います。配線収納部に納めてあるコネクタを引き出し、隣のパネルのコネクタと接続します。コネクタは△印がある方が表となります。コネクタはカチッと音がするまで差込み、抜け、緩みがないことを確認してください。

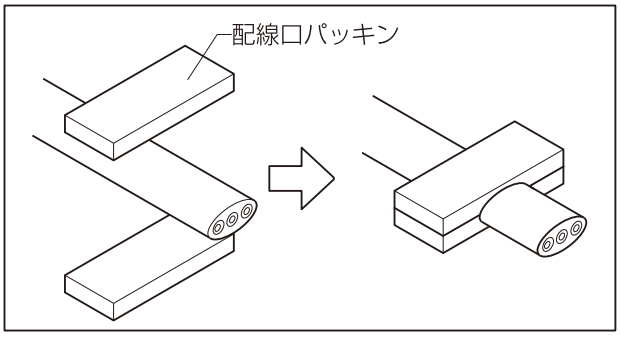


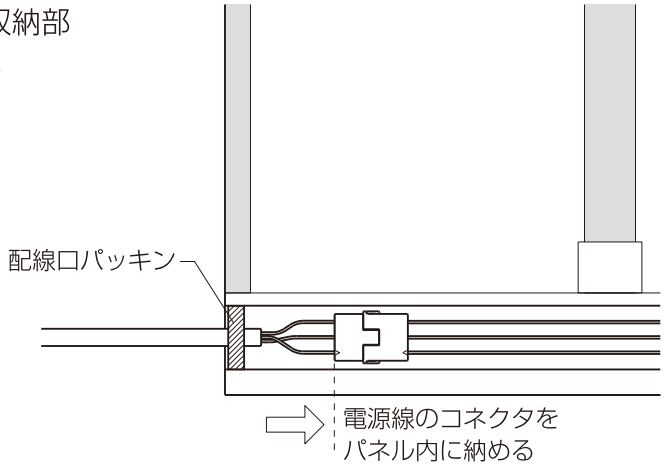
2 電源線の接続

①コントローラーへの電源線には専用のコネクタ付き電源線（LZZZZ047）を使用します。
電源線の両端にはオス、メス各1個のコネクタが接続してありますので、必要とする側をパネルに接続し、反対側はコントローラー周辺又は床下の電源線立ち上げ位置まで引き出しておきます。
長さが足りないときは市販のFケーブル（VVF φ2.0mm3芯）を継ぎ足してご使用ください。



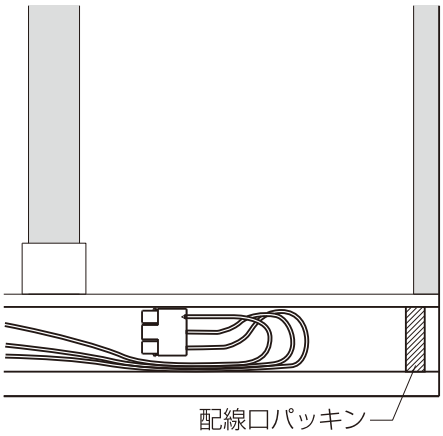
②結線後、電源線に接続されているコネクタをパネルの配線収納部内に納まるように調整してください。
③配線口パッキン2個のはくり紙をはがし、配線収納部の内部で電源線をはさみ込むように取付けます。





3 パネル末端の処理

①パネル末端のコネクタは何も接続する必要はありません。（パネルは全て並列接続です）末端のコネクタはリード線部分で折り返し、配線収納部の内部に納めます。
②配線口パッキン2個のはくり紙をはがしてパネル末端の配線収納部に張付け末端の開口部をふさぎます。

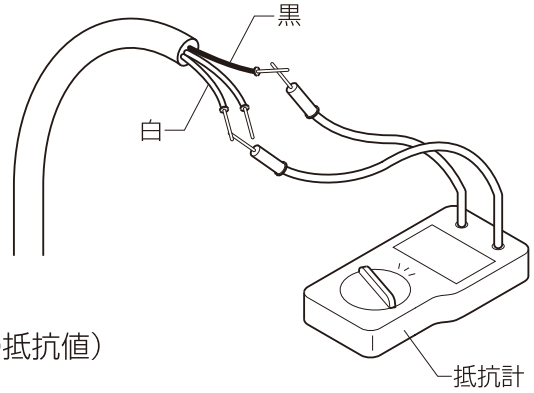


⚠ 警　告

●配線口パッキンは必ず取付けてください。

4 パネル結線後の検査

①パネルに接続された電源線の電源端子（リード線：白と黒）間の抵抗値をテスターで測定します。抵抗値はその回路に接続されているパネルの合成抵抗となります。合成抵抗（R）は次の式により計算します。

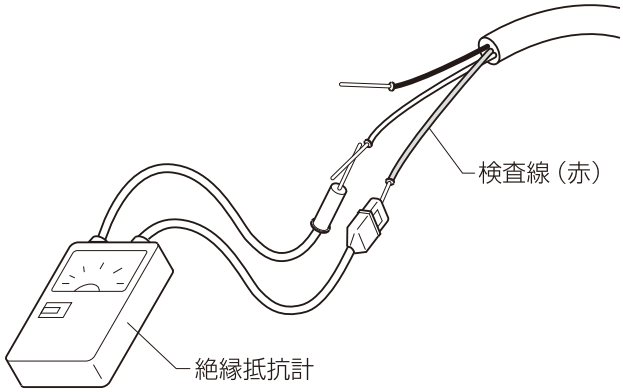


$$R=\frac{1}{1/R_1+1/R_2+1/R_3+\cdots\cdots+1/R_n}$$

（R_1～R_n：（4 パネルの準備）で測定、記録した各パネルの抵抗値）

・測定した値が7Ω以上で計算値の±30%以内であることを確認します。値が大きく異なる場合はパネルの接続枚数、短絡など異常の有無を確認してください。

②電源線の電源端子（黒、白）と検査線（赤）間の絶縁抵抗値を絶縁抵抗計で測定します。絶縁抵抗はDC500Vで100MΩ以上を合格とします。絶縁抵抗値が低い場合は短絡など異常の有無を確認してください。

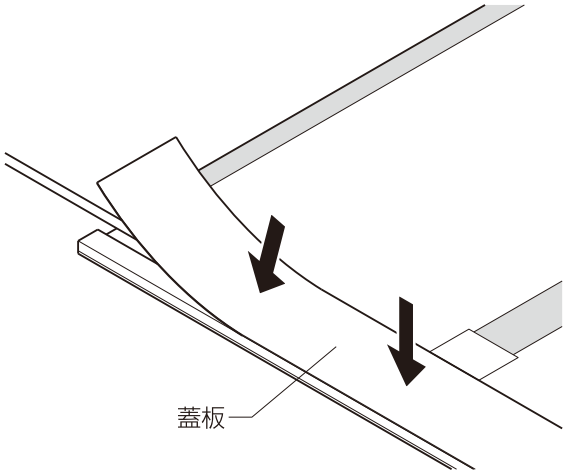


⚠ 警　告

●パネルの結線後は必ず、抵抗値、絶縁抵抗値を測定してください。

5 配線収納部の蓋板取付け

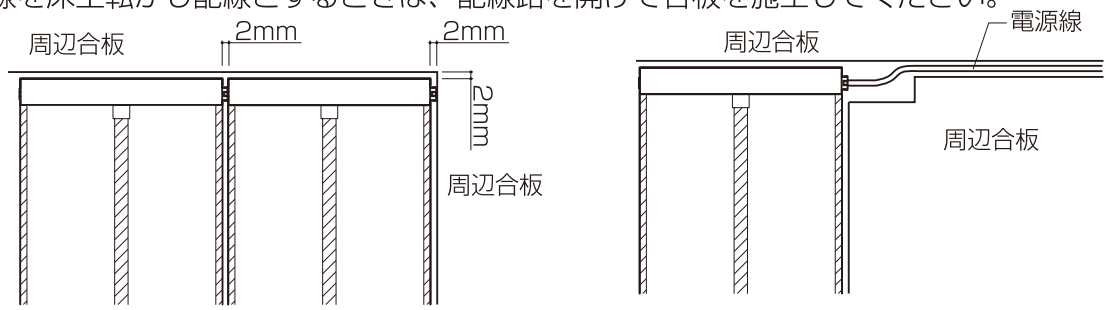
①蓋板の保護テープと、裏面に張付けてある粘着テープのはくり紙をはがし、蓋板を床暖房パネル本体に張付けます。この時、電線・コネクタが収納部分からはみ出ないように気をつけてください。蓋板に挟まれたまま施工すると断線や漏電のおそれがあります。



②全てのコネクタが配線収納部の内部に納まっていることを確認してください。

7 周辺合板の施工

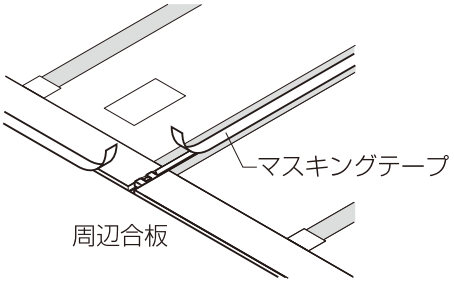
①パネルを敷設しない個所にはレベル調整のための周辺合板を施工します。床暖房パネルと周辺合板との間は2mmのすき間を設けてください。
②周辺合板は12mmの耐水合板を使用し、接着剤と釘を併用して下地に強固に固定してください。下地への固定ができていないと、床鳴りや目すきの原因となるおそれがあります。
③電源線を床上転がし配線とするときは、配線路を開けて合板を施工してください。



8 床材の施工

1 マスキングテープ張付け

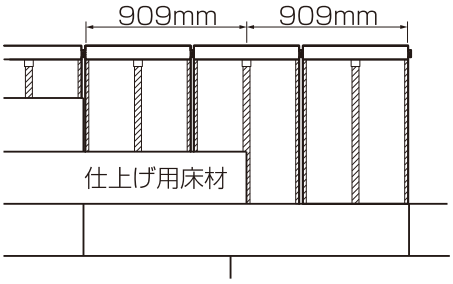
●床暖房パネル相互ならびに床暖房パネルと周辺合板のすき間はマスキングテープ（現場手配、幅15mm程度）で塞いでください。すき間に接着剤が入ると暖房時のパネルの伸縮が吸収できず、突き上げ・床鳴りの原因となります。



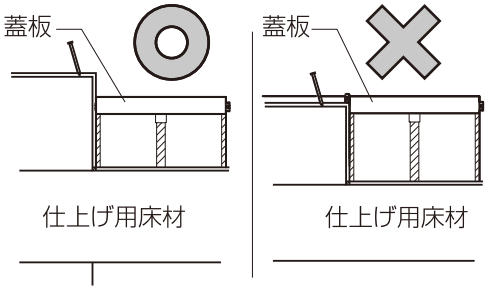
2 床材の割付け

●床材は長手方向が必ずパネルの長手方向と直交するように施工します。割付けに際しては次の2点を必ずお守りください。

①床材は必ず1尺（303mm）または3尺（909mm）のずらし張りとし、床材の短尺方向の継ぎ目が必ず床暖房パネルの釘打ち可能範囲にくるようにしてください。

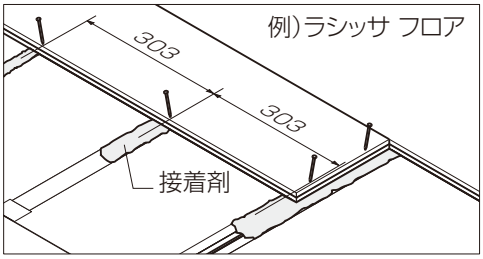


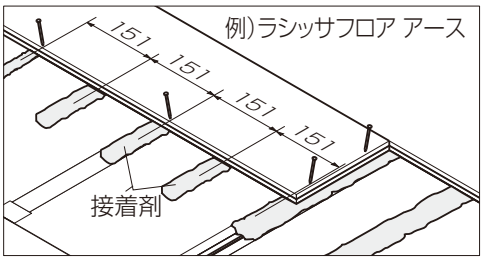
②床材の長手方向の継ぎ手が床暖房パネルの蓋板（幅約80mm）に重ならないようにしてください。
実部での釘打ち固定ができなくなります。



3 床材の固定

※床材の種類によって固定方法が異なります。詳細は床材に同梱の施工説明書の内容にしたがってください。
①必ず専用の床施工用接着剤（LZZZZ036）を各床材の指定位置に塗布してください。（床材によって塗布位置が異なります）また、短辺の雄ザネの下部にも塗布してください。
②フロアネイル（38mm以上）またはフロア用ステープル（38mm以上）を使用し、釘打ち可能範囲（緑色部分）に固定してください。また、短辺にも２本釘打ちしてください。





⚠ 警　告

●釘打ち可能範囲（緑色部分）以外には絶対に釘、ねじなどを打たないでください。

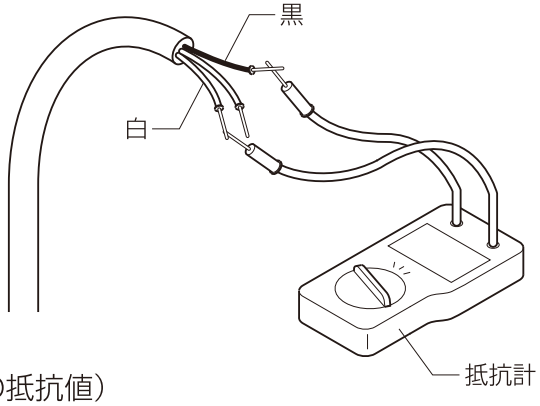
9 コントローラー、リレースイッチの取付け

⚠ 警　告

●床材施工後、コントローラー・リレースイッチ取付け前には必ずパネル電源線の抵抗値、絶縁抵抗値を測定し異常がないことを確認してください。

1 床暖房パネル電源線の抵抗、絶縁抵抗検査

①パネル結線後と同様に、床暖房パネルに接続されている電源端子（リード線：白と黒）間の抵抗値をテスターで測定します。抵抗値はその回路に接続されているパネルの合成抵抗となります。合成抵抗（R）は次の式により計算します。

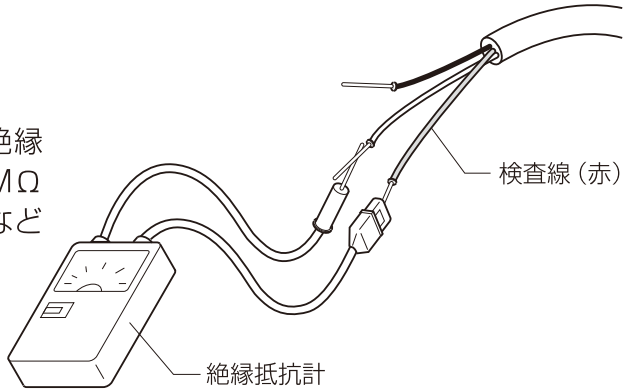


$$R=\frac{1}{1/R_1+1/R_2+1/R_3+\cdots\cdots+1/R_n}$$

（R_1～R_n：（4 パネルの準備）で測定、記録した各パネルの抵抗値）

・測定した値が7Ω以上で計算値の±30%以内であることを確認します。値が大きく異なる場合はパネルの接続枚数、短絡など異常の有無を確認してください。

②電源線の電源端子と検査線（赤）間の絶縁抵抗値を絶縁抵抗計で測定します。絶縁抵抗はDC500Vで100MΩ以上を合格とします。絶縁抵抗値が低い場合は短絡など異常の有無を確認してください。



2 コントローラー・リレースイッチの配線工事

⚠ 警　告

●コントローラー、リレースイッチの取付け・取外しや結線のときは必ずブレーカーを切った状態で行ってください。感電のおそれがあります。

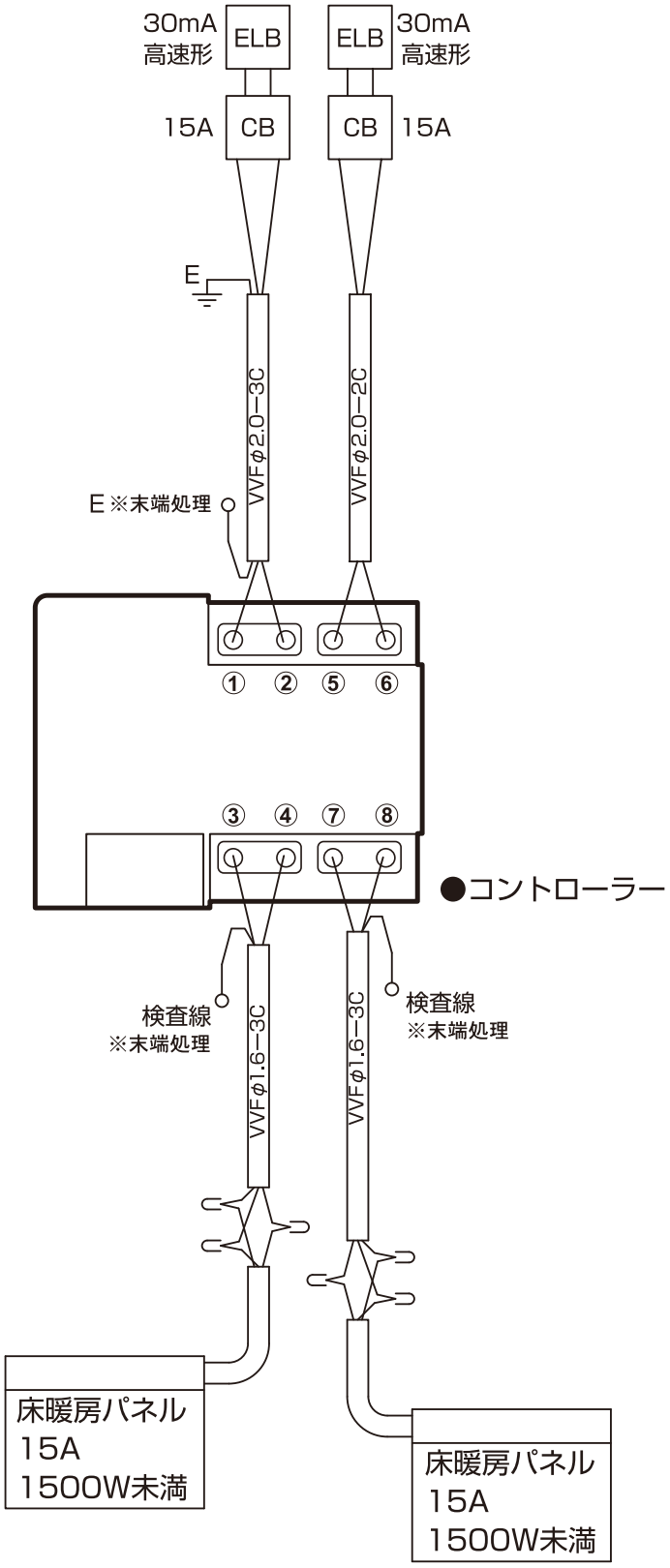
①コントローラー1回路には最大15A（2回路合計30A）、リレースイッチ1回路には最大20A（2回路合計40A）のパネルが接続可能です。電流合計がそれぞれの最大を超える場合にはリレースイッチを増設するか、回路を分割しコントローラーを増やしてください。

②コントローラー、リレースイッチの接続端子は全て速結方式となっております。接続する電線は必ず指定の電線：VVFφ1.6、2.0mm単線3芯をご使用ください。電線のストリップ長さは各接続端子に表示しているストリップゲージに合わせてください。

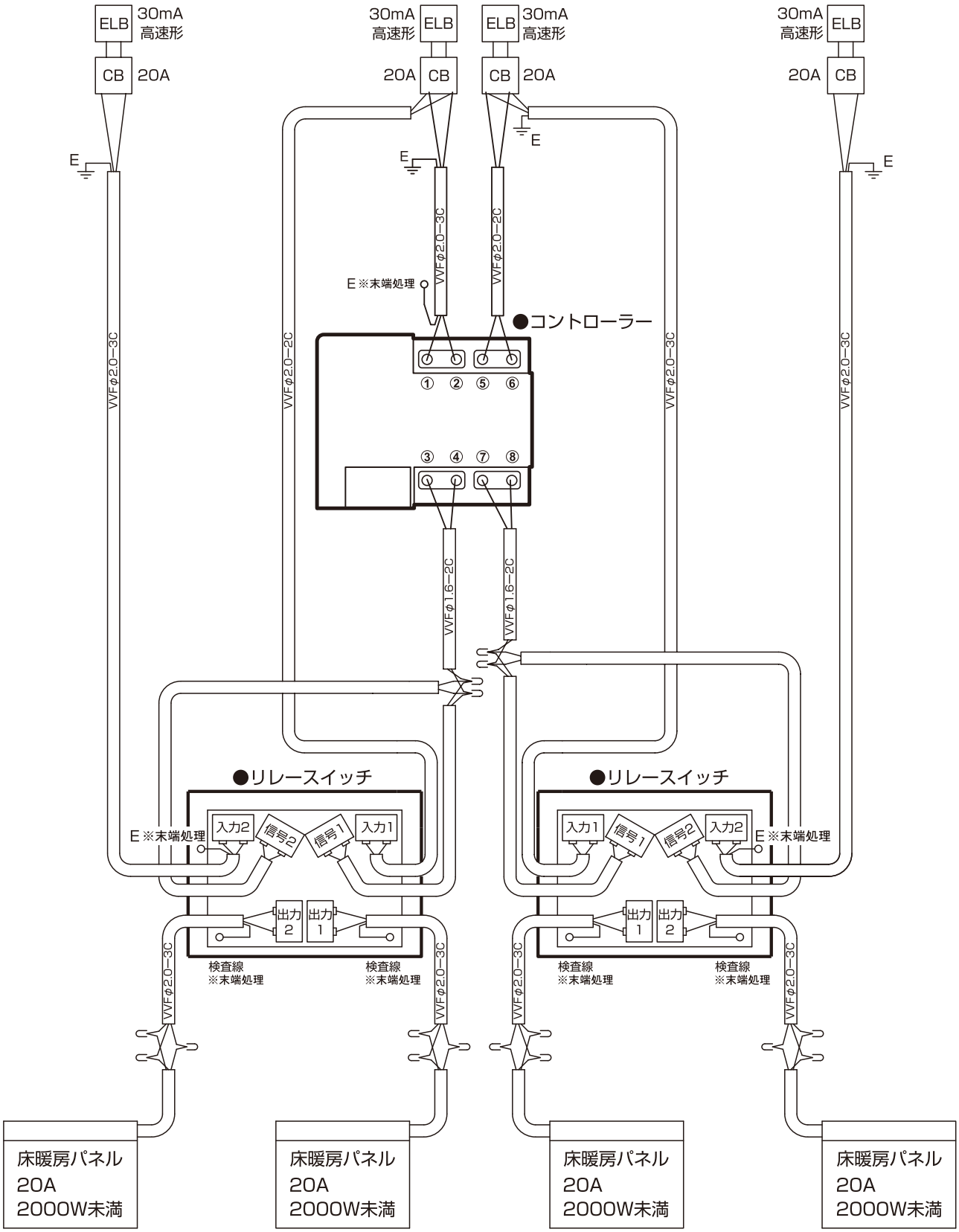
③床暖房パネルの枚数、リレースイッチの有無により接続のしかたが異なります。次頁の配線例を参考に結線を行ってください。

※床暖房パネルの検査線は絶対にアースに接続しないでください。漏電遮断器が誤作動する原因となります。検査終了後、検査線の先端には必ずテープ巻きを行ってください。

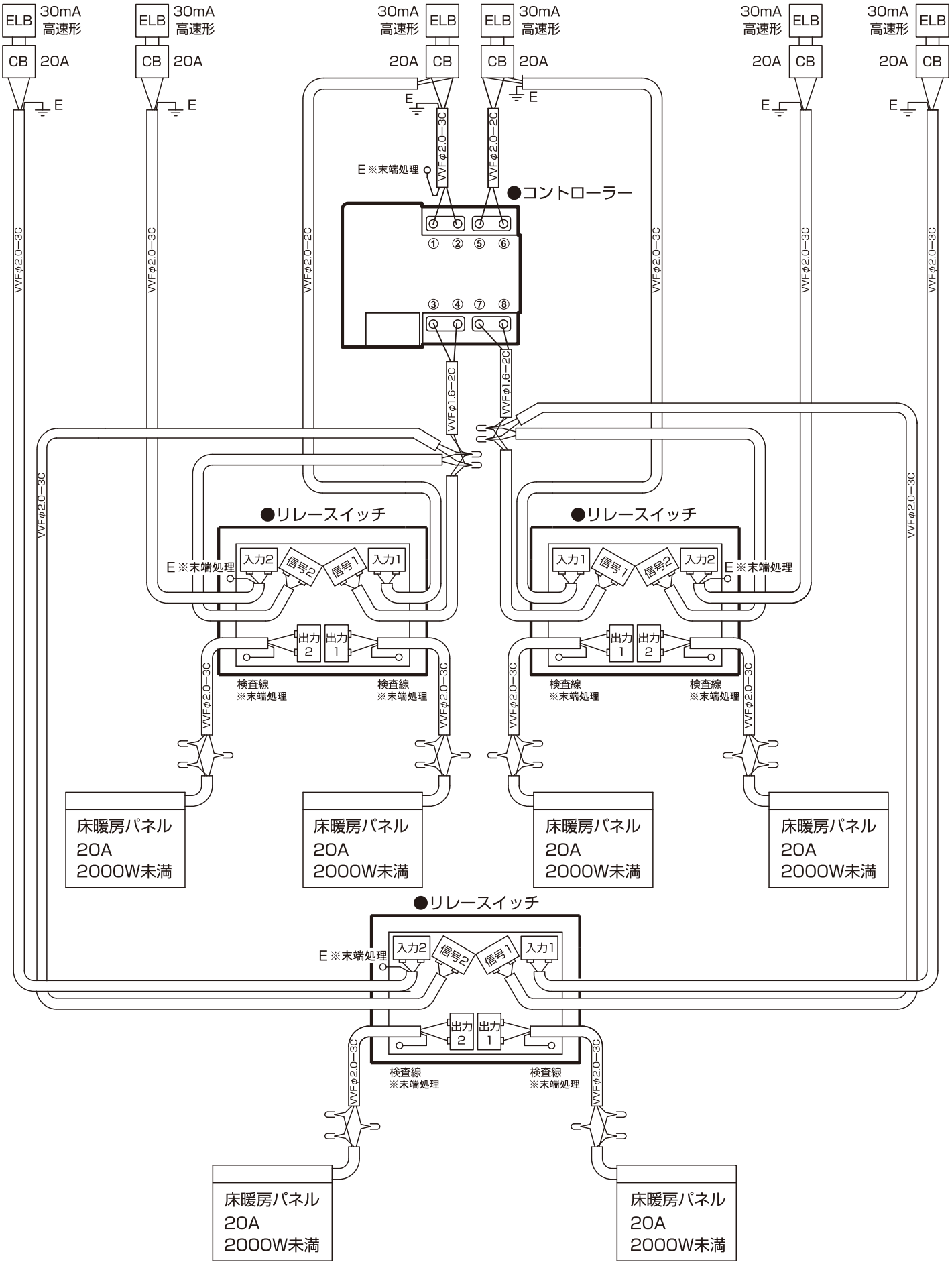
■配線例（コントローラーのみ使用する場合 ※1チャンネル、2チャンネル共通）



■配線例（リレースイッチを併用する場合 ※1チャンネル、2チャンネル共通）



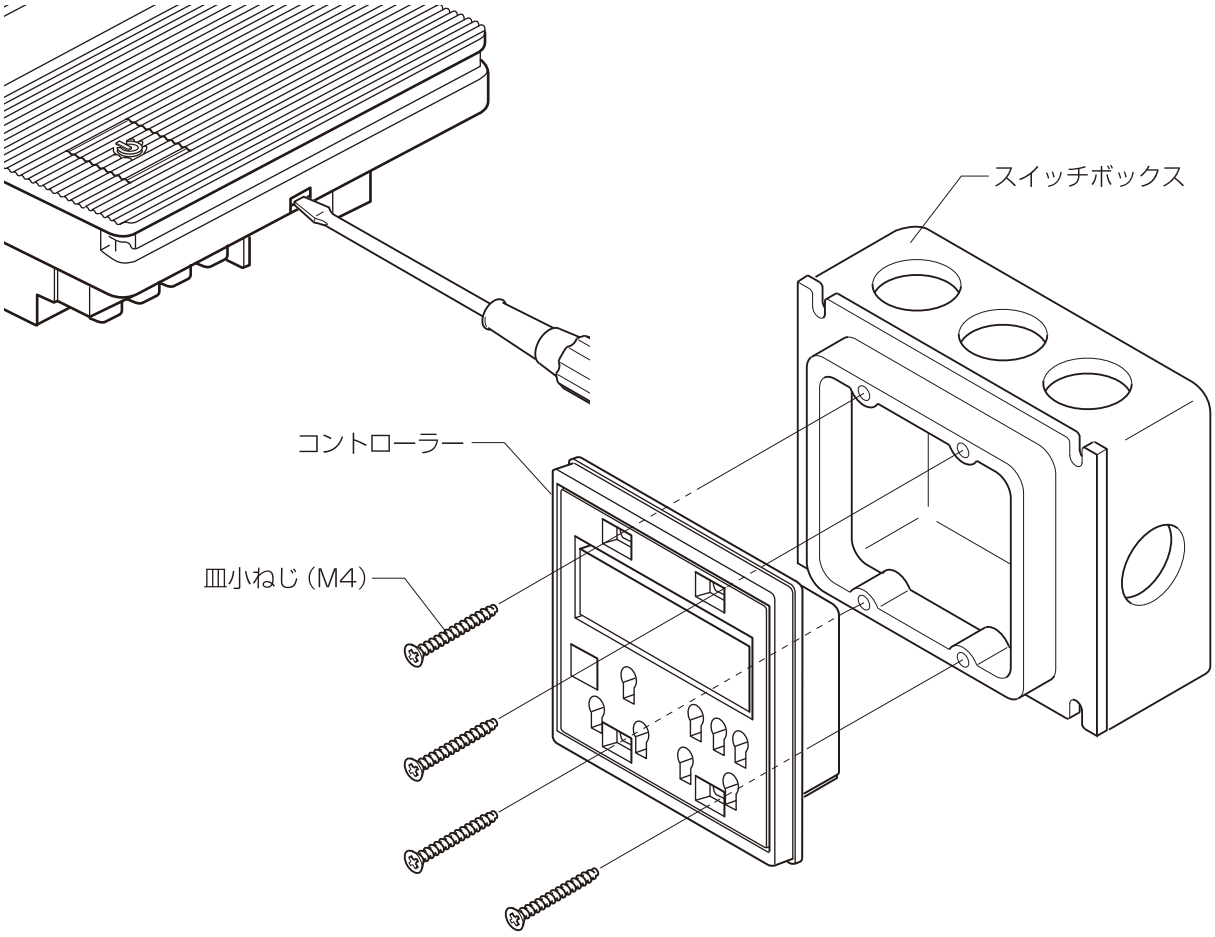
■配線例（リレースイッチを併用する場合 ※1チャンネル、2チャンネル共通）



3 コントローラーの取付け

①コントローラー裏面の端子に1次電源線とパネルからの電源線を接続します。電源線を端子の奥まで差込み接続してください。差込みが浅いと異常加熱や電線外れによる漏電、短絡のおそれがあります。

②コントローラー下部中央の外し溝にマイナスドライバーを差込んで化粧プレートを外し、皿小ねじ（M4）4カ所でスイッチボックスに固定します。



10 試運転

1 配線の確認

●全ての配線が正しく行われていることを確認します。

2 1次電源の投入

●漏電遮断器、配線用遮断器を「入」にします。

3 試運転

①床暖房用のブレーカーを入れるとコントローラーの液晶部に時刻未設定を示す「--：--」が表示されます。

②次に 時計 スイッチを2秒以上押して、「現在時刻」が点滅しましたら、 ▼ ▲ スイッチで時刻を合わせ、セット スイッチを押し確定します。

③次にコントローラーの 入/切 スイッチを押し、運転状態とします。
（緑色のランプが点灯します。）

④運転開始後約20分で床表面が暖かくなりますので、パネル設置部分がきちんと発熱しているかどうか確認してください。

⑤確認終了後 入/切 スイッチを押し、運転を停止します。

11 こんな時は・・・

考えられる不具合		考えられる原因	対処方法
電源が入らない		電源が接続されていない	電源を接続してください
		漏電遮断器が切れている	漏電遮断器を入れてください
		配線用遮断器が切れている	配線用遮断器を入れてください
		入力、出力が逆になっている	正しく接続し直してください
		停電中である	停電の復帰後に運転してください
		コントローラーの故障	コントローラーを交換してください
配線用遮断機が落ちる	電源投入時	短絡している（1次側）	1次側配線を交換してください
	運転開始時	配線用遮断器の容量が小さすぎる	配線用遮断器を負荷容量に見合ったものに交換してください
		接続するパネルの枚数が多すぎる	パネルの枚数を機器の定格に合わせて減らしてください
		短絡している（2次側）	2次側電源回路の絶縁抵抗を確認してください
漏電遮断機が落ちる	電源投入時	漏電している	1次側、2次側双方の絶縁抵抗を確認してください
	運転時	漏電している	2次側電源回路の絶縁抵抗を確認してください
		接続するパネルの枚数が多すぎる	パネルの枚数を機器の定格に合わせて減らしてください
運転はされるが温度が上がらない	全面が全く暖かくならない	パネルが正しく接続されていない	電気配線を確認してください
		コントローラーの故障	コントローラーを交換してください
		1枚目パネルの故障、電源線の断線	2次側電源回路の抵抗値を測定し、各パネルの合成抵抗に等しいかどうかを確認してください
	部分的に暖かくならない	パネルの故障（渡り線の断線）	各パネルのコネクター間の導通を確認してください
		パネル間の結線忘れ	パネル間の接続を確実に行ってください
		床暖房パネルには構造上発熱しない部分があります	故障ではありません（約30cm間隔で温度が低い部分が生じます）
	あまり温度が上がらない	設定温度が低い	設定温度を高くしてください
		コントローラーの故障	コントローラーを交換してください
運転が頻繁に停止する		電源電圧が低い	単相交流の100Vを確実に接続してください
誤作動する		コントローラーの故障	コントローラーを交換してください
		外来ノイズの影響	ノイズ源から遮断してください
異常な表示が出る		コントローラーの故障	コントローラーを交換してください
		外来ノイズの影響	ノイズ源から遮断してください

12 施工終了後

⚠ 警　告

●床クリーニング時に水、洗浄液、ワックスなどを直接床にまかないでください。

●床クリーニング時にワックスを塗布される場合は、必ず床暖房の運転を停止し、床表面の温度が下がってから行ってください。表面温度が高いまま塗布されますとワックスはくりの原因となります。

●施工終了後は運転を停止し、ブレーカーをお切りください。

お願い

※引き渡し時には必ず床暖房パネル敷設枚数、敷設位置を取扱い説明書裏表紙の欄内に記入の上建主様にお渡しください。その上で注意事項、操作方法、分電盤内部の床暖房回路ブレーカー位置についてご説明願います。

株式会社 LIXIL

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00　土・日・祝日 9:00～17:00（ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く）

TEL. **0120-126-001**　FAX.**03-3638-8447**

●旭トステム外装株式会社のサイディング材に関する商品相談は
旭トステム外装（株）サービスデスクナビダイヤル　TEL.0570-001-117

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00（祝日、年末年始、夏期休暇等を除く）

TEL. **0120-413-433**　FAX. **0120-413-436**

https://www.lixil.co.jp/support/

安全に関するご注意

ご使用の前に「取扱説明書」をよくご覧の上、正しくお使いください。また、取付設置工事は「取付設置説明書・施工説明書」に従ってください。いずれの場合も、取り扱いを誤ると事故や故障の原因となります。

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社の「個人情報保護方針」に記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「個人情報保護方針」をご覧ください。

●商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。

LIXIL

インテリア建材　床暖房システム　HOTひといき　取付け説明書

2022.6

株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、LIXIL オフィシャルサイトまで

https://www.lixil.co.jp/

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CAD データなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトからご確認ください。

取説番号 MAH-90H	事業所コード CPZ1	2022.06.24発行

MAH90H